

41	環境局	生物多様性の保全・緑の創出等
事業概要	<p>緑は、都民に潤いや安らぎを与えるだけでなく、都市防災やヒートアイランド対策などの都市環境の改善、美しい景観の創出、生態系の保全への寄与など、その役割は多様かつ重要なものである。</p> <p>都は、平成24年5月に生物多様性地域戦略を策定し、緑の量を確保する取組に加え、生物多様性の保全等、緑の質を高める視点を重視した施策を展開している。</p> <p>また、様々な自然体験施策を実施することにより、自然環境保全の気運を醸成し、緑地保全の裾野拡大を図っている。</p>	
これまでの経過	<p>○平成24年5月 「生物多様性地域戦略（緑施策の新展開）」策定</p> <p>○平成26年5月 「植栽時における在来種選定ガイドライン」策定</p> <p>○平成27年4月 一般財団法人セブンイレブン記念財団との間で協定を締結し、「高尾の森自然学校」を開校</p> <p>○平成29年3月 「生態系に配慮した緑化 評価ツール（試行版）」及び「在来種植栽の設計・管理のポイント」の策定</p> <p>○平成29年5月 「東京の自然公園ビジョン」の策定</p> <p>在来種植栽登録制度「江戸のみどり登録緑地」を受付開始</p>	
現在の進行状況	<p>① 生物多様性の保全・緑の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化計画書制度により、約228haの屋上等の緑を創出（平成13年度から平成30年度までの累計） ・区市町村が地域等と連携して行う「花と緑」を創出する社会実験事業を支援し、花で街を彩る取組を推進 ・「江戸のみどり登録緑地」を8件登録（令和元年9月末） <p>② 緑の保全を支える環境整備と裾野の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト「里山へGO!」の運営 保全活動の希望者にニーズとレベルに応じた活動やボランティア団体の情報を紹介 ・保全地域体験プログラム 保全地域において初心者でも参加しやすい自然体験プログラムを実施することによる、新たなボランティア人材の掘り起こし ・「高尾の森自然学校」にて民間の資金やノウハウを生かした自然環境保全・環境体験学習事業を実施し、生きものと人との関わりや自然の大切さを学ぶ機会を広く都民に提供 <p>③ 自然公園の保護と利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京の自然公園ビジョン」に基づき、以下の東京の自然公園が目指す姿の実現に向けた取組を推進 I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園 II 人と自然との関係をとれもつ自然公園 III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園 	
見通し	<p>「2020年に向けた実行プラン」（平成28年12月）や「環境基本計画」（平成28年3月）等に基づき、引き続き生物多様性の保全、緑の創出等を推進していく。</p>	
問い合わせ先	環境局 自然環境部 計画課	電話 03-5388-3539